

# 平成 16 年度事業計画書

(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

## 平成 16 年度 事務事業の重点目標

財団のスポーツ振興計画をにらみ、  
サービスの向上と経費の効率圧縮化をすすめる

- 1 会員制度導入のための検討を開始するとともに、より高度な利用サービスを進め市民利用拡大を図り、事業の体系化を推進する。
- 2 各施設の管理運営効率向上のため、清掃・設備業務、指導業務等、外部への委託を圧縮し、直営化を推進する。
- 3 各施設の管理運営体制を嘱託、臨時、パートによる体制に転換し、事業サービスの拡大を図るためプロパー職員の自主事業への配置転換を推進する。
- 4 内部人材の高度な養成研修を推進し、多様な管理運営、指導企画ノウハウの集積を図る。
- 5 市民ニーズに対応した事業サービス分野の拡大(健康、コミュニティ、レクリエーションなど)を推進し、高付加価値サービスへの転換を図る。
- 6 内部資産(人材、物財、財貨、情報など)の蓄積を推進し、競争力の拡大を図る。
- 7 事務の情報化を推進し、統合・集中管理による効率化、合理化を図る。
- 8 「信賞必罰」を鮮明にし、職員の自己研鑽意欲を高め、モチベーションを向上させる。
- 9 これらの改革転換のため、平成 16 年度は、20 周年記念事業の展開と内部の研修養成期間と定め、各種の試みを積極的に実施する。

# 平成16年度 事業実施計画

## 1. 地域スポーツ普及振興事業（講習会、教室等）

寄附行為第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行う。

### <体育館・プール事業>

各区体育館、プールにおいて市民を対象とした大会、講習会、教室等を実施するとともに、技術の向上を目的とした事業やスポーツに対する動機付けとなる体験教室を実施する。

#### (1)大会

北区卓球大会、厚別区ジュニアバドミントン大会、白石区ミニバレー大会等17大会。

#### (2)講習会

##### ア.体育館

インドアゴルフスクール、エアロビクス、リズム体操、ヨガ、バドミントン、太極拳、テニス、フォークダンス、バトントワリング、卓球、演歌体操等991講習会。

##### イ.プール

水泳教室(成人・シルバー・少年少女・幼児・4歳児・親子)、アクアビクス、おはようスイミング、スキューバダイビング、水中ウォーキング、水中エクササイズ等1,401講習会。

##### ウ.中島公園歩くスキー常設コース

歩くスキー学校(3期5教室)

### <エリア移動型事業>

既存施設を利用するだけでなく、地域住民を対象に、バスなどを利用した屋外事業を行い、参加者のコミュニティを醸成する事業を実施する。

ウォーキング果物温泉ツアー、軽登山、ノルディックウォーキング、散策会、ハイキング

### <学校体育施設利用事業>

学校開放施設を利用して、地域に密着した事業を積極的に展開する。

かんたんエアロ星置、キッズテニス、お母さんと幼児の体操、短期集中“鉄棒・跳び箱”苦手克服など12教室

(収支見込)

収入予定 350,944,000円

所要経費 217,965,000円

## 2. 地域スポーツ指導者育成事業

寄附行為第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

地域のスポーツ指導者を対象とした、ソーシャルワークやグループワーク等のスキルアップを目的としたスポーツリーダー育成講習会を実施する。

(収支見込)

収入予定 0円

所要経費 2,323,000円

### 3. スポーツ行事開催事業

寄附行為第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

#### <主な主催事業>

- (1) 第29回札幌マラソン大会(平成16年10月3日)

真駒内屋外競技場を発着点として、市内中心部折り返しコースのハーフマラソンと10kmを実施する。また、真駒内公園内で、一般5km(オープン)・中学生・小学生・ファンペア・車イス種目を実施する。

(収支見込)

収入予定 56,563,000円

所要経費 59,587,000円

- (2) 第25回札幌国際スキーマラソン大会(平成17年2月13日)

札幌ドームを会場とし、西岡オリンピック記念距離競技場を含む周辺にて、スキーマラソン50km、歩くスキー25km、歩くスキー10km、歩くスキー5kmを実施する。

(収支見込)

収入予定 34,616,000円

所要経費 37,651,000円

#### <その他の主催事業>

- (1) 第12回バイシクル・エンデューロ(平成16年5月16日)

藤野野外スポーツ交流施設において、一般及び小・中学生を対象にマウンテンバイクのクロスカンントリーを実施する。

- (2) EKIDEN カーニバル2004 札幌大会(平成16年6月20日)

「人と心のネットワーク」を目指し、4月から9月までの期間に全国8会場(東京、大阪、福岡他)で開催される市民駅伝の一環として実施する。

- (3) 2004 クロスカンントリーフェスティバル札幌(日時未定)

小学生以上を対象とし、体力及びマラソン技術の向上を目的に実施する。

- (4) 第12回屋内水泳記録会(平成16年11月14日)

サッポロペンタスロン事業の一環として、市民の健康体力づくりを目的に平岸プールにおいて実施する。

- (5) 第11回北海道155ミニバレー大会(平成17年1月15・16日)

生涯スポーツとして、技を競いあうとともに心の交流を深め、健康で明るく豊かな暮らしに寄与することを目的に実施する。

- (6) 第8回札幌カップ国際アイスホッケー競技大会(平成16年8月6～8日)

札幌市が世界に向けて次の世代を担う青少年のために、常設のアイスホッケー大会として提唱し、スポーツ交流を通じて相互理解と友情を深めることを目的に、月寒体育館、星置スケート場において実施する。

(収支見込)

収入予定	3,618,000円
所要経費	5,265,000円

#### <協力事業>

- (1)第45回札幌市民体育大会総合開会式(平成16年5月9日)
- (2)第76回宮様スキー大会国際競技会(平成17年3月上旬)

#### 4. スポーツ情報提供事業

寄附行為第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

##### (1) スポーツ情報誌の発行

スポーツライフ応援マガジン「スポーツライフ(sports life)」を年4回 各10,000部を発行する。

##### (2) 市民ニーズ調査

ア. 新規運動実践者の獲得(新しいプログラムの開発)

調査方法は、今後検討し関連調査データとのリンク分析を実施する。

イ. 定期的運動者へのアプローチ(既存プログラムの充実)

前年度実施した「区体育施設利用者調査(プレ調査)」の分析結果を踏まえ、さらに踏み込んだ2次調査を検討する。

最終的には、前年度実施した「体育振興会活動状況調査」の分析を含めて、全体的な市民ニーズ調査結果の報告書を作成する。

##### (3) スポーツマップの発行

ア. 紙ベースマップの作成

市内及び近郊のスポーツ施設、公園等を活用した運動プログラムや地域のスポーツ情報(サークル、少年団等)を紹介したマップを、10区分、各1,000部作成する。

イ. Webマップあるいは、CD-ROM版マップの研究開発

パソコン画面にて、総合的なスポーツ施設情報等がニーズに応じて、リアルタイムに検索閲覧できるシステムの導入やCD-ROM版マップの開発を目指す。

##### (4) 施設利用時間割を掲載したホームページの作成

事業団ホームページ内に、施設利用時間割やその他のスポーツ情報(教室、大会等)を紹介したページを作成する。

(収支見込)

収入予定	240,000円
所要経費	12,880,000円

#### 5. 健康体力づくり相談事業

寄附行為第4条第5号に掲げる事業は、次の計画により行う。

##### (1) 中高年を対象としたトレーニング講習会の実施

医療従事者(医師、看護師等)の派遣による健康管理に加え、学識経験者と連携した専門カリキュラムを提供する。

(2) 健康管理及び運動処方システムの導入に関わる研究開発

健康調査や体力測定結果に基づく、運動処方を行えるシステムや体力測定機器の導入を目指す。

(収入見込)

収入予定 0円

所要経費 5,400,000円

## 6. スポーツ行事及び体育施設等管理運営受託事業

寄附行為第4条第6号に掲げる事業は、次の計画により行う。

### <スポーツ行事等受託事業>

(1) 少年少女水泳教室

市内の泳げない3年生から6年生までの小学生を対象に、7月下旬から8月上旬までの8日間、20会場で開催する。

(2) 第27回北海道を歩こう(平成16年9月5日)

真駒内緑小学校を出発し、支笏湖のまでの36kmを完歩することにより、健康に対する意識の高揚と体力の向上を目的に開催する。

(3) 歩くスキー普及事業

歩くスキーの普及・振興を図るため、中島公園内に歩くスキー貸出所を開放(平成16年12月下旬から平成17年3月下旬)。

また、白旗山競技場、中島公園、真駒内桜山に各々歩くスキー常設コースを設置。

### <学校体育施設開放事業>

ア. 体育館開放～287校	小学校	197校(内自主管理校 110校)
	中学校	89校
	高校	1校(内自主管理校 1校)
イ. グラウンド開放～97校	小学校	44校(内自主管理校 1校)
	中学校	53校(内自主管理校 1校)
ウ. プール開放～203校	小学校	201校
	中学校	2校
エ. 格技室開放～12校		[中学校12校]

### <体育施設管理運営受託事業>

ア. 北区体育館  
イ. 東区体育館  
ウ. 白石区体育館  
エ. 厚別区体育館  
オ. 豊平区体育館  
カ. 南区体育館

キ. 西区体育館・温水プール  
ク. 手稲区体育館  
ケ. 清田区体育館・温水プール  
コ. 厚別温水プール  
サ. 豊平公園温水プール  
シ. 平岸プール

ス.白石温水プール  
セ.手稲曙温水プール  
ソ.東温水プール  
タ.中央体育館  
チ.美香保体育館  
ツ.月寒体育館  
テ.円山総合運動場

ト.コミュニティドーム  
ナ.星置スケート場  
ニ.宮の沢屋内競技場  
ヌ.麻生球場  
ネ.白旗山競技場  
ノ.中島体育センター  
ハ.藤野野外スポーツ交流施設

(収支見込)

収入予定 3,232,088,000円

所要経費 3,232,088,000円

## 7. 物品販売・貸付業及び飲食店業

寄附行為第4条第7号に掲げる事業は、次の計画により行う。

各施設において、利用者の利便を図るため、下記の事業を行う。

### <物品販売事業>

#### (1) 売店営業施設

西区体育館・温水プール、厚別温水プール、白石温水プール、手稲曙温水プール  
東温水プール、コミュニティドーム

#### (2) 自動販売機設置施設

北区体育館、東区体育館、白石区体育館、厚別区体育館、豊平区体育館、南区体育館  
西区体育館・温水プール、手稲区体育館、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール  
豊平公園温水プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール  
美香保体育館、コミュニティドーム、宮の沢屋内競技場、白旗山競技場、中島体育センター

### <物品貸付事業>

#### (1) コインロッカー設置施設

西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水  
プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール、コミュニティド  
ーム、白旗山競技場、中島体育センター

#### (2) ドライヤー設置施設

西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水  
プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール

#### (3) パークゴルフ用具貸出施設

コミュニティドーム

### <飲食店業>

#### (1) レストラン営業施設

コミュニティドーム

(収支見込)

収入予定 117,265,000円  
所要経費 99,741,000円

## 8. 財団設立 20 周年記念事業

### (1)レクリエーション・コミュニティ型事業(新規)

ア. 全道のスポーツレクリエーション愛好者への還元事業として、親子や家族、グループを対象にファミリー活動の拡大と自然環境を大切にすることを意識を芽生えさせることを目的に、「北海道フィッシングラリー」を実施する。

事業内容は、釣りに関心のある人々に四季折々の自然に触れてもらい、釣った魚の種類に応じて、ポイントを与え、そのポイント数に応じて抽選会を行ない、賞品を贈呈する。

イ. 市民に、四季を通して自然とスポーツを楽しんでもらうため、春には軽登山、夏にはDAYキャンプ、秋にはウォーキング、冬にはかんじきなどレクリエーション要素を含んだ「野外体験事業」を新たに実施する。

### (2)スポーツレクリエーション開発交流型事業(新規)

ア. 体育施設利用者と他都市とのスポーツ交流を図りまた、ニュースポーツの振興に資するため、ミニバレー利用者による選抜チームをミニバレー発祥の地である大樹町の大会へ派遣しスポーツ交流を実施する。

イ. 利用者と職員の連携を促進するため、卓球やバドミントンの競技種目に、変則ラケットを使用するなど遊びの要素を含んだ新しいプログラムの開発を目指し、また施設間の交流を目的に「施設合同事業」を実施する。

ウ. 当事業団が管理する屋外の野球場など、冬場の遊休スペースを活用して、身近な冬のスポーツレクリエーション活動の拡大のため「雪上運動会」の実施やスポーツ界の有名選手の講習会、観戦ツアーなど「プロスポーツ選手とのふれあい事業」を実施する。

### (3)イベント関連事業

健康づくりのために実施している「北海道を歩こう」の参加者拡大のため、新たに「ウォーキング講習会」などの関連する啓発事業を実施する。

### (4)謝恩事業

ア. 利用者に対する謝恩及び利用促進のため、安価な記念品を作成し、施設利用者や関係団体へ配布する。

イ. 各施設の主催大会参加者に対する謝恩及び継続参加のため、「中島体育センター親睦卓球大会」や「西区体育館バドミントン大会」など 17 大会に対して、お楽しみ抽選会の実施や各種賞品を用意する。

ウ. コンサドーレ札幌や北海道日本ハムファイターズのスポーツ観戦チケットを抽選によりプレゼントする事業を実施する。

(収支見込)

収入予定 23,350,000円  
所要経費 39,328,000円